

研究課題名	障がい者・ジュニアアスリートのメディカルおよびフィジカルチェック結果の後ろ向き調査
研究責任者名	広島大学病院リハビリテーション科 教授 三上 幸夫
研究期間	許可日 ~ 2027年 3月 31日
対象者	2017年2月から2026年12月の間に、広島大学病院スポーツ医科学センターおよび広島県医師会臨床検査センターでメディカルチェックを受けられた障がい者・ジュニアアスリート・成人の方
意義・目的	アスリートが競技レベルを安全に向上させるためにはメディカル・フィジカルチェックによる事前の安全管理や、競技力を向上させる医学的サポートが必要であるが、具体的なメディカルチェック項目がどのようにパフォーマンスに影響するかはまだ解明されていません。本研究によって基本的な血液や尿、唾液や体組成、骨密度などからクリティカルにパフォーマンスに影響する因子やスポーツ障害の発症が明らかになれば、アスリートの安全・健康管理、疾病・傷害予防、パフォーマンス向上につながる有効な介入方法の立案が期待できます。
方法	<p>メディカル・フィジカルチェックにおいて実施した、基本的な血液検査、尿検査、唾液検査、画像検査、体組成、骨密度、身体機能、アンケート調査の結果から、貧血や生活習慣病などの疾病、詳細なビタミン・ミネラル不足などの血液異常、骨格の異常・スポーツ傷害をみつけて、体組成（腹囲・筋肉量・体脂肪量など）、骨密度、身体機能（筋力・パワー・持久力など）、栄養調査（三大栄養素、ビタミン、ミネラル摂取量など）、アンケート調査（練習時間、睡眠時間、疲労感、月経困難など）との関連を調べます。これらの情報は、氏名・住所・生年月日等の個人情報を用いて、代わりに新しく研究用の符号をつけ、どなたのものか分からないようにして研究に用います。</p> <p>また共同研究機関のFANCLに血液・尿の残余検体を郵送し、ビタミン・ミネラル、骨マーカー、成長関連ホルモン、炎症マーカーの調査をします。和洋女子大学にアスリートの食事の計量や写真を郵送し、栄養の調査、解析を行います。</p>
研究の実施体制	<p>研究代表者、機関の長 広島大学病院リハビリテーション科 教授 三上幸夫          広島大学理事 田中純子</p> <p>共同研究機関          株式会社FANCL、主任研究員 雄長 誠          和洋女子大学 助教 永澤 貴昭</p>
試料・情報の管理責任者	広島大学病院リハビリテーション科 教授 三上 幸夫
利用または提供を開始する予定日	本学の実施許可日以降

## 個人情報の保護について

調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心ください。

研究に資料を提供したくない場合はお申し出ください。お申し出いただいても不利益が生ずることはありません。ただし、すでにこの研究の結果が論文などで公表されていた場合には、提供していただいた情報や、試料に基づくデータを結果から取り除くことができない場合があります。なお公表される結果には、特定の個人を識別できる情報は含まれません。

## 問合せ・苦情等の窓口

〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3

T e l : 082-257-5566

広島大学病院リハビリテーション科 助教 牛尾 会